

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県 笠岡市

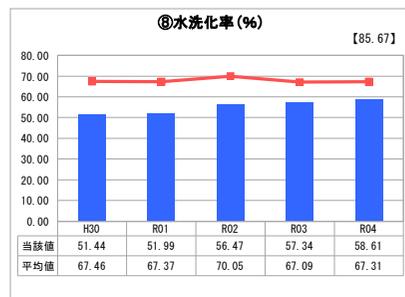
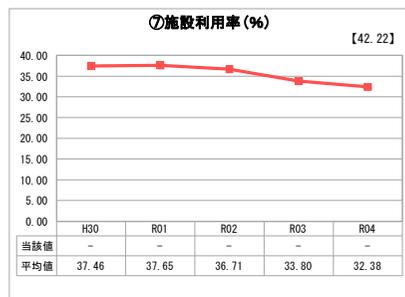
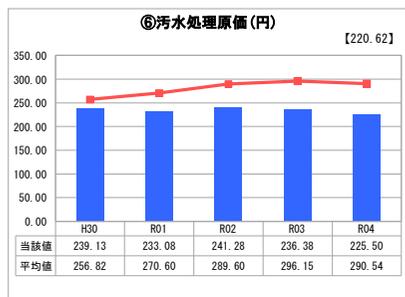
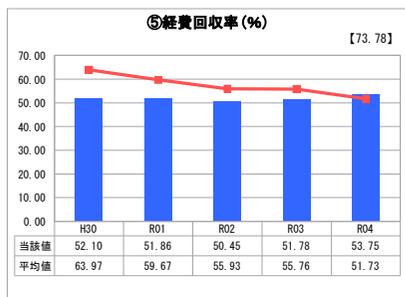
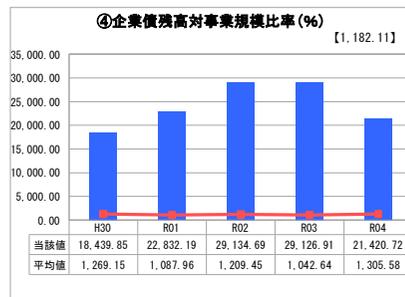
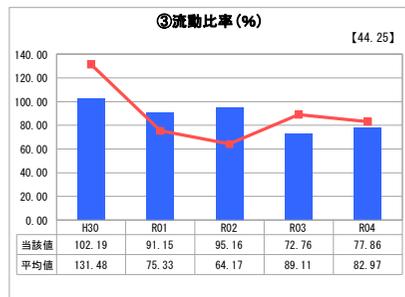
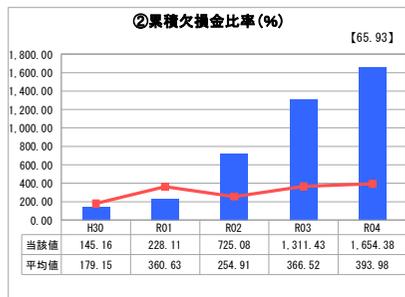
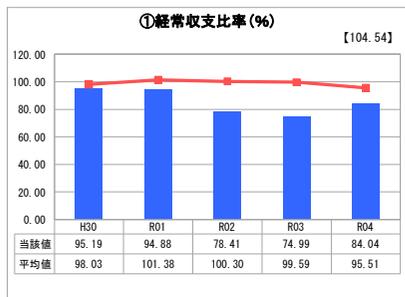
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>※</sup> 当たり家庭料金(円)
-	22.51	1.46	-	2,596

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
45,534	136.07	334.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
662	0.27	2,451.85

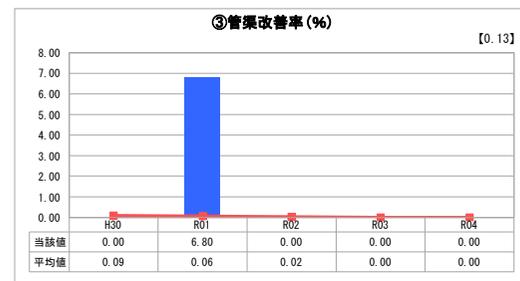
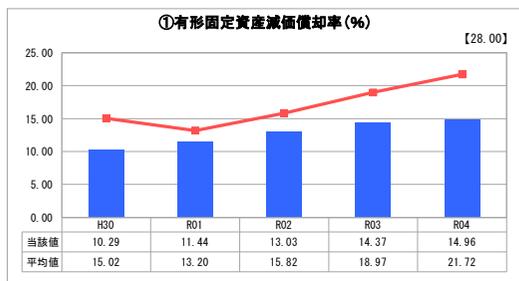
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%未満で単年度の収支は赤字である。
- ② 累積欠損金比率は、全国平均、類似団体平均値を大きく上回り、営業活動により生じた損失を補填できず、複数年度に渡って欠損金が累積している。欠損金を抑制するための手段を講じる必要がある。
- ③ 流動比率は、100%を下回り、短期的な債務に対する支払能力は低い。事業運営の為に、一般会計からの繰入金で不足分を補っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体平均値を大きく上回る。本事業については事業計画に基づき管渠の整備の途上で、今後も企業債の借入が必要となるため、企業債残高の割合は大きくなると思われる。※令和2年度の正しい値は27903.87%（決算状況調査表に誤りがあったため）
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均値を上回るものの、100%未満のため、使用料収入だけでは必要な経費を賅えていない。収入の確保に努める必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価については、類似団体平均値を下回っている。前年度と比べて汚水処理費が減少し、年間有収水量が増加しているため、汚水処理原価は減少している。
- ⑦ 施設利用率については、本事業は、隣接する矢掛町の処理施設で汚水処理を行っているため0%である。
- ⑧ 水洗化率は、接続世帯増加に伴い、増加が見込まれるが、接続対象となる人口・世帯の減少及び、高齢化により、伸びは緩やかなものになると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

- 供用開始から10年程度しか経過しておらず、老朽化等の不具合は確認されていない。今後も定期的な点検管理を行っていく。

## 全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、専ら公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全が目的であり、公共性が非常に高い事業である。  
 本事業は、先進的な取り組みとして矢掛町との広域処理で整備しているが、人口構造や地理的要因により、水洗化率や有収水量の著しい伸びは期待できず、経営の健全性には課題がある。したがって、経営の健全性と公益性のバランスがとれるような事業運営を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。